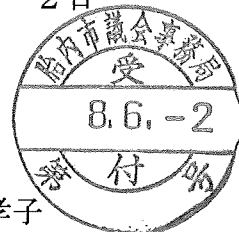


受付番号	令和 8 年 6 月 2 日
/	午前 8 時 30 分 受領

令和 8 年 6 月 2 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
不登校児童生徒への支援について	日本共産党胎内市委員会が実施した「市民アンケート」の身の回りで困りごとはありませんかの間で「不登校の孫がいます。フリースクール等きめの細かい支援を希望します。」とあった。重く受け止め、2023 年 9 月と 2024 年 12 月に不登校について一般質問しているが、不登校児童生徒は減少しているのか。また、新聞等で教員不足が報じられているので、併せて教育環境についても質問する。 1 不登校児童生徒数とその対応について。 2 小中学校の教員数と教職員未配置があれば、その対応について。教員の長時間労働の状況。休職している教員数は。 3 市内にフリースクールを設置できるよう支援できないか。	教 育 長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
学校給食の地元野菜の使用促進について	2025 年 3 月に一般質問しているが、農家から、学校給食に地元野菜を使ってもらえるようになって良かったとの声が聞かれる。現在の地元野菜利用状況について伺う。 1 学校給食における地元野菜の利用状況（品目数及び金額ベース割合）について。 2 地元野菜を調達する際の注文・搬入等の仕組み、野菜提供農家数と課題について。	教 育 長
公共交通について	日本共産党胎内市委員会の市民アンケートの身の回りで困りごとはありますかの問で「のれんす号で新発田病院へ行けるようにしてほしい」や「コミュニティ巡回バス方式を考えてほしい」とあった。コミュニティ巡回バスの希望は5月24日の市民と議会の意見交換会でも出された。公共交通について伺う。 1 「のれんす号」の利用状況と利用方法について。 2 「のれんす号」の運行ルートを新発田病院まで拡大する考えについて。 3 ライドシェアの利用状況と利用方法について。今後の課題について。 4 コミュニティ巡回バスは検討できないか。	市 長

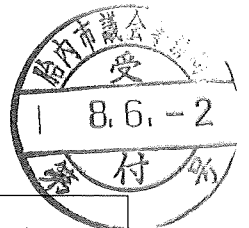
受付番号	令和 8 年 6 月 2 日
2	午前 8 時 35 分 受領

令和 8 年 6 月 2 日

胎内市議会議長 八 幡 元 弘 様

胎内市議会議員 渡 辺 栄 六

一 般 質 問 通 告 書



胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問相手
自治会運営の課題と地域コミュニティについて	近年、自治会運営においては、役員の高齢化や担い手不足が深刻化しており、特に区長職については「引き受け手がない」「なり手が見つからない」との声が多く寄せられている。 また、平日日中に開催される行政関係会議への出席負担、広報紙や配布物、回覧板の各戸配布など、自治会業務は年々多岐にわたり、住民の負担感が増している現状がある。 自治会は地域コミュニティの維持、防災、防犯、高齢者見守りなど、地域社会において重要な役割を担っているが、今後は持続的な運営が困難になることも懸念される。 1 市として、自治会・町内会における役員不足や区長のなり手不足の現状をどのように認識しているか。 2 自治会役員の負担軽減に向け、現在どのような支援を行っているのか。 3 今後、役員業務の簡素化やデジタル化支援など、持続可能な自治会運営に向けた取組みを進める考えはあるか。 4 行政から自治会へ依頼している配布物・回覧板・各種調査等について、負担軽減を図る必要があると考えるが、市の見解を伺う。	市長

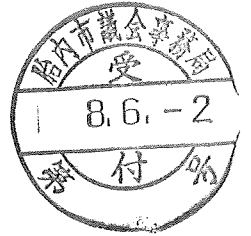
市営墓地の今後の在り方について	5 広報紙や回覧板について、デジタル配信や希望制の移行など、見直しを検討する考えはあるか。 6 平日日中開催となっている会議等について、夜間や休日開催、オンライン活用など、多様な参加方法を導入する考えはあるか。 7 地域コミュニティを持続可能なものとするため、市として自治会のあり方をどのように考え、今後どのように支援策を講じていくのか。 少子高齢化や核家族の進行、さらにはライフスタイルや価値観の変化により、お墓に対する考え方も多様化している。 従来の「家で代々継承する墓」から、墓じまいや永代供養墓、合同墓など、継承を前提としない多様な供養の形を選択する方もおられる。 また、市営墓地の中には駐車場不足が課題となっている墓地もあり、高齢化が進む中で墓所までの移動負担や安全面への配慮が必要である。 1 本市における市営墓地の利用状況、空き区画数、今後の需要予測についてどのように分析しているのか。 2 今後、市営墓地において墓じまいの増加や継承者不足といった社会変化を踏まえ、合同墓や永代供養墓など多様な埋葬ニーズへの対応について伺う。 3 駐車場不足が課題となっている塩沢霊園について、利用者の利便性向上や安全確保の観点から、駐車場整備や交通対策をどのように考えているのか。 4 今後の人口減少や高齢化を見据え、市営墓地全体の在り方について、中長期的なビジョンをどのように描いているのか。	市 長
ごみの減量化と廃食油の活用について	食品ロス削減やプラスチック資源循環など、ゴミ減量化に向けた取組みが全国的に進められている。その中で、家庭や事業所から排出される廃食油については、適切に回収・再資源化することで、ゴミ減量のみならず、バイオディーゼル燃料や航空燃料（SAF）などへの活用	市 長

	が期待されている。 一方で、家庭から排出される廃食油の多くは、可燃ごみとして処理されているほか、排水として流されることで環境負荷につながる懸念もある。 こうした中、全国の自治体では、スーパーや公共施設を活用した回収拠点の設置、民間事業者との連携による資源循環の取組みが進められている。 1 本市における家庭系廃食油の排出実態をどのように把握しているのか。 2 廃食油をバイオディーゼル燃料や次世代航空燃料（SAF）などへ再資源化する取組みについて本市の見解を伺う。 3 ごみ減量化及び脱炭素社会の実現に向け、市民への周知啓発をどのように進めていく考えか。 4 今後、本市として循環型社会形成の観点から、廃食油回収を新たな資源循環施策として推進する考えはあるか。	
--	--	--

受付番号	令和 8 年 6 月 2 日
3	午後 1 時 49 分 受領

令和 8 年 6 月 2 日

胎内市議会議員 八幡 元弘 様



胎内市議会議員 渡邊 雅茂

一般質問通告書

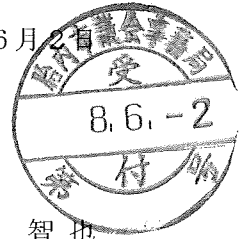
胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
人口減少下における街づくりと将来像	人口減少を前提とした都市構造への転換について ・人口減少が進んでも市民が安心して暮らし続けられる仕組みへの転換が必要と考える。その一つに、地域の構造や公共サービスを効率化しつつ市民生活の質を維持・向上させるスマートシュリンクや市の中心部に機能集約するコンパクトシティといった考え方があるが、市長はどのように考えているか。 ・人口が減れば過去に整備された公共施設特に広大なインフラ（道路、上下水道）の維持管理が財政を圧迫するが、将来の見通しはどのように考えているか。	市長
縦割り打破と新組織創設について	今後の街づくりにおいては、様々な課題がありいずれも一課の業務に留まらず、行政一丸となって取り組むべきテーマであるが現在の縦割り行政では各課の利害調整や前	市長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	例踏襲の壁に阻まれ時代に取り残される懸念がある。 ・未来を守るために、20年後、30年後の市の在り方をイメージし、各課・分野で垣根を超え、機動的で推進力のある市長直轄の組織を創設すべきと考えるが市長の所見を伺う。	

受付番号	令和 8 年 6 月 2 日
4	午後 3 時 2 分 受領

令和 8 年 6 月 2 日



胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 寛 智 也

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
部活動地域展開について	「教職員の業務負担軽減」や「多様な活動の維持」に向けた取組みとして整備が進められてきた部活動の地域移行について、改革推進期間が終わり、改革実行期間となって地域展開と名称が変更された。行政区ごとに地域に合わせた様々な取り組みが行われているが、本市の部活動地域展開について伺う。 1 現在の状況について。 (1) 現在の学校別部活動数と部員数は。 (2) 休日活動の委託先、及びスポーツ教室数と申込者数について。また、スポーツ教室と文化部活動にはどのようなものがあるか。 (3) 指導者の確保や活動場所など、運営方法や取り組み、参加費等の対応はどのようにになっているか。 2 生徒への安全管理について。 (1) 平日と休日の対応はどのようにになっているか。 (2) 活動場所が学校以外の場合の移動について、どのように対応しているのか。 3 移行・展開に関する対応について。 (1) 新潟県はスポーツ庁から重点地域に指定され国の支援があったとのことだが、資金面での対応は。 (2) 保護者や地域ボランティア、現場サイドから不満の声や意見などはあるか。 (3) 指導者の選定に対する規約や審査などはどのようにしているか。 (4) 大会等への参加に関する要件はどうなっているか。	教育長

(2 枚中 1 枚目)

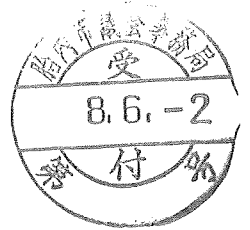
豪雨被害対策について	近年、線状降水帯などによる突発的な豪雨により、道路冠水や住宅浸水被害などが多くなったように感じるが、市の状況について伺う。 1 市街地の道路冠水や住宅浸水しやすい箇所を伺う。 2 市道の道路冠水箇所について、現在または今後の対応はどのようになっているか。また、国道・県道の道路冠水に対する情報共有や対応はどのようになっているか。 3 住宅浸水被害になりやすい場所への対応はどのようになっているか。 4 若松町など改良工事が完了した箇所の排水能力はどの程度改善したのか。	市 長
-------------------	--	------------

(2枚中2枚目)

受付番号	令和 8 年 6 月 2 日
5	午後 5 時 15 分 受領

令和 8 年 6 月 2 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様



胎内市議会議員 平井 孝

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

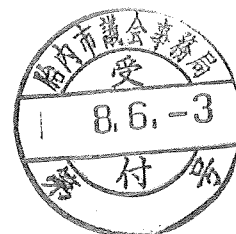
質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
防災・減災対策について	令和 6 年能登半島地震では避難所における様々な課題が浮き彫りになり、当市においても災害発生時に市民が安心して避難生活を送ることができる環境整備は重要であるとともに情報伝達体制、地域防災力の向上は継続して取り組むべき課題であると考えられる。以下、伺う。 1 段ボールベッド、パーティション、簡易トイレ、非常用電源等の備蓄状況と追加、更新予定は。 2 乳幼児、高齢者、外国人住民、障がい者等、多様な立場からの視点を取り入れた実践的な避難所運営訓練実施の考えは。 3 ペット同行避難を想定した避難所の受け入れ体制の整備状況と対応施設の数。 4 ペットの飼い主を対象とした「防災減災講習会」や「ペット同行避難訓練」の実施に加え、ペット同行避難マニュアルを作成する考えは。 5 防災アプリの普及状況と、アプリと避難所情報を連携する予定は。 6 防災士育成の成果と今後の支援策は。	市 長

受付番号	令和 8 年 6 月 3 日
6	午前 9 時 38 分 受領

令和 8 年 6 月 3 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 坂上 隆夫



一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
ほ場整備事業について	農業従事者は高齢化が進み、後継者不足で今後は引受け手のいない農地は耕作放棄地となり、害獣被害や周辺環境の悪化を招くことが懸念されます。条件の悪い水田は特に引受け手がいません。市でもほ場整備事業を行っているが、条件の悪い水田もほ場整備することにより耕作放棄地を減らせると考えるが、ほ場整備事業について伺う。 1 現在、市内の水田の、何割がほ場整備が完了しているか。また、中条、築地、乙、黒川地区別での割合は。 2 ほ場整備事業が予定より遅れているが、国、県などに早期の着工の要望などしているのか。 3 現在進められているほ場整備事業は作付面積の 2 割の園芸品目導入計画や、法人化が求められている。しかし、園芸品目を導入するにあたり、農家から不安の声も聞くが、支援の考えは。また、法人化するにあたり、現在どのような支援を行っているのか。 4 今後、高齢化や後継者不足で未整備の水田は耕作放棄地になるおそれもあるが、市の考えは。	市 長
黒川地区観光の活性化について	黒川地区には様々な観光施設があるが、老朽化や事業見直しにより現在使用していない施設もある。先日まちづくり常任委員会で視察に行った草津町のスキー場では、オフシーズンの利用としてペットに対するサービスが様々あり、スキー場の寿司屋には「犬専用の寿司」まで用意されていた。時代の流れを感じるが、黒川地区の観光もスキー場とホテルを拠点に、時代のニーズに合った観光を検討し活性化してはどうか伺う。	

(2 枚中1枚目)

	1 イベントは集客するのに有効な手段だと思うが、スキー場、ロイヤル胎内パークホテル、樽ヶ橋遊園の主なイベントのここ数年の実施状況は。 2 他のスキー場ではオフシーズンの利用、イベントの誘致を様々行っているが、胎内スキー場でもイベントを積極的に行ってはどうか。 3 現在使われていない胎内多目的グラウンドやスキー場脇の広場を胎内ディアーズの練習場所と使用する考えは。 4 近年ペットと泊まれる施設が増えてきている。ロイヤル胎内パークホテルは現在ペットの受け入れはどうなっているのか。 5 老朽化した観光施設の撤去計画はあるのか。	
--	--	--

受付番号	令和 8 年 6 月 3 日
7	午後 3 時 49 分 受領

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

令和 8 年 6 月 3 日

胎内市議会議員 佐藤 武志

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告いたします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 公共交通機関 運営について	1. 高齢者の早期運転免許証の返納者や、日頃の買物・通院などの、移動手段を持たない市民の足として「デマンドタクシー」や「ライドシェア」などが現在利用されている。	市 長
	事前申し込みの「デマンドタクシー」や夜間運行利用の「ライドシェア」とは、また違った当日の買い物や移動などに簡単に利用でき、市民の足として使い勝手のよい交通手段が、今後、必要と思われるが、考えについて伺う。	
2. 市道の路面標示 について	1. 市道のセンターライン・停止線・横断歩道・文字表示などが、不鮮明な所や確認できないほど消えている箇所も見られる。	市 長
	事故を未然に防ぐ役割でもある道路標示を明確に確認できるよう、今後の対処について伺う。	
3. 公共工事用看板 について	1. 以前は公共工事看板に工事金額が表示されていたが、その後、公共工事用看板から工事金額表示されない状態が続いている。	市 長
	今一度、公共工事看板に工事金額を表示することが必要と思うが、考えについて伺う。	

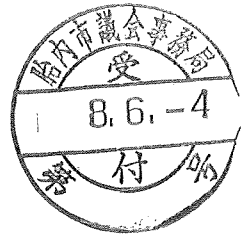
受付番号	令和 8 年 6 月 4 日
8	午前 8 時 30 分 受領

令和 8 年 6 月 4 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 森本 将司

一 般 質 問 通 告 書



胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
産業振興について	① これまで企業誘致について企業の機能移転や BCP の観点から質問してきたが、企業誘致の現状はどうなっているか。 ② 近年、AI 産業の成長が著しい中で AI データセンター需要が増してきている。稼働に当たっては莫大な電力と膨大な冷却用水が必要となる中で地価や人件費の高額な都市部ではなく地方への進出が増えているとのことである。当市でも AI データセンターに特化した誘致をしても良いと思うがどうか。 ③ 洋上風力に必要となる人材は 2050 年に 4 万 8500 人と試算されている。長崎県では県や市、地元の産業界で人材育成のための NPO 法人を立ち上げ年間千人の養成を目指している。風車の近隣で人材の育成ができるというのは理想の環境であると思うが設置の可能性について市長の考えを伺う。	市長

(2 枚中 1 枚目)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
熊害対策について	① これまで堅果類が凶作の年に市街地でクマが目撃されることがあったが、最近では全国的に通年で目撃・人身被害が起きている。これは市街地で越冬し定住している可能性もあると考えるが、市街地のクマの駆除についての対応は。 ② 昨年は 1 件の緊急銃猟があったが、今後の課題は。また訓練は十分に行われているのか。 ③ 昨年の飯豊連峰の死亡事故を受けて登山道と奥胎内ヒュッテを閉鎖することだが、人身被害を与えた加害クマが仮に人間を餌として学習していた場合、それを駆除しないかぎり再開すべきでないと考えるが今後の見通しは。 ④ ドローン活用の実証実験をしたとのことだが今後どのような活用をするのか。 ⑤ 児童・生徒へのクマに対する啓発や対応はどうかしているのか。	市長 教育長
高齢単身世帯に対する施策について	① 65 歳以上の単独世帯は何世帯あるか。また今後の推計は。 ② 横須賀市では、高齢単身世帯に対して緊急連絡先やかかりつけ医など情報を登録し緊急時に備える「わたしの終活登録」や亡くなった際の葬儀を生前に契約する「エンディングプラン・サポート事業」を行っているが当市で取り入れる考えは。	市長

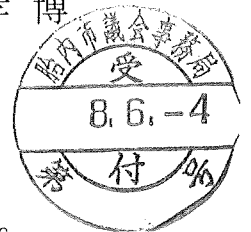
受付番号	令和 8 年 6 月 4 日
9	午前 10 時 59 分 受領

令和 8 年 6 月 4 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 丸 山 孝 博

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
市民の安心・安全について	① 物価高騰・資材不足等から市民の暮らしと営業を守ることにについて ・中東情勢の悪化は市民の暮らしと営業を直撃しています。本市への影響はどのように出ているのか伺います。 ・物価の高騰や燃料費などの価格高騰に直面する市民生活を支援するため、全市民に 1 人 5 千円分の地域商品券の配付などを行ってきました。また、国の補正予算案は 7 月から 9 月までの電気、ガス料金の支援が中心で物価高、物不足等についての対策は必ずしも十分とは言えないと思います。市独自の支援策は考えているのか伺います。 ② 猛暑から市民の命を守るため、市では「熱中症対策エアコン購入費等助成事業」を実施していますが、これまでの実績と助成の要件を緩和し、2 台目以降の購入も助成の対象にすることについて伺います。	市長

子育て支援について	③ 各集落等の入り口等に設置してある集落名の看板が見えにくくなっていたり、老朽化したりしていますがその認識についてと、今後計画的に更新、新設すべきではないか伺います。 ④ 亡くなった際に市役所で各種手続きを 1 か所の窓口でまとめて案内・受付するワンストップ窓口「お悔みコーナー」を設置して市民の負担軽減、サービスを行うことについて伺います。 ① 乳幼児がいる世帯に対し、育児で使用する紙おむつ等を捨てるため、市の指定ごみ袋を一定枚数支給し子育てを支援できないか伺います。 ② 安心して産める環境づくりのために ・胎内市は市内に分娩を扱う医療機関がなくなって数十年になります。安心して子供を産める環境づくりのための支援が必要と考えますが市の考えを伺います。 ・分娩空白地域の村上市、関川村と協議・連携し、県立坂町病院に産婦人科を誘致・開設するよう県に働きかけ、産婦人科不足解消の取り組みを進めるべきではないか伺います。	市長
-----------	--	----